

### 第30回JR東労組駅伝・ロードレース大会 仲間と共に、明るい未来へ駆け出そう！

6月23日～24日、第30回JR東労組駅伝・ロードレース大会を、多摩川河川敷多目的散策路にて開催しました。



23日は、中央本部や陸上部部長の挨拶で、組織の現状認識について一致させ、組織強化に向け「一人はみんなのために、みんなは一人のために」お互いがベストを尽くすことを確認し、盛大に親睦を深めました。



駅伝・ロードレース大会

### 文芸部会 私たちは「ペン」の力で 世の中や仲間を訴え続ける!!

6月25日～26日、神奈川県三浦市マホロバ・マインズ三浦にてJR東労組文芸部第30回総会を開催し、17名の仲間が参加しました。



一日目の総会においては、文芸部の一年間の活動を振り返り、合評会を開催してきたことや新規部員獲得のためにEAST通信を発行してきたことが報告されました。



JR東労組文芸部第30回総会

### 医療部会 「安全・健康・ゆとり・働きがら」のある 医療職場と労働条件を仲間と共にひらき出そう！

6月29日に医療部会総会を開催し、1年間の活動方針としてJR東労組への再加入、医療現場における安全の確立、医療社員が働きやすい環境の整備、労働条件の向上等を掲げ、取り組んでいくことを確認しました。

参加者からは「様々なコミュニケーションを利用し、各職場との情報交換を行いながら、JR東労組への再加入に向けて取り組んでいく」「各医療現場の問題点や現状を把握するため積極的に情報収集を行

### 工務部会 安全・健康・ゆとりを担保し 技術・技能を継承する職場をひらき出そう！

7月13日、JR東労組本大会議室にて「工務部会第31回定期委員会」を開催しました。

質疑では「CBMについての職場議論を、苦しい組織現実の中でも仲間と共にひらき出してきた」「電気部門の変革2022と向き合い、職場議論を積み重ねて労働組合を現実できる運動をつくり出し、組織拡大を勝ち取ってきた」「交渉を通じて、労働組合の存在意義と組織強化・拡大の必要性を実感した」など、職場において議論と実践を積み上げてきた教訓が語られました。

い、問題の解決に向けて仲間と共に奮闘していく」などの発言がありました。

診療報酬によって収入が決まり、利益を追求する職場であること、鉄道会社という特殊性の中で社員の健康管理を担うという直営医療機関の重要性を訴えていくことを再確認しました。

医療部会では仲間と共に、JR東労組だからこそできる運動やたたかいかいをつくり出していきます。

私たちは、技術継承・技能伝承ができる職場を、組合員と共にひらき出していかなければなりません。18春闘大敗北とその後最悪の組織現実を踏まえて出した追加スローガンであること、自分たちがひらき出した現実であると受け止め、反省し転換しなければ組織拡大は実現できません。

今後1年、職場の仲間と共に原因究明や施策の検証運動を行い、安全で働きやすい職場風土をつくり出していきます。そして、その運動を通じて組織強化・拡大を実現させていきます。

### 花岡事件研修

### USヒューマンコース「花岡事件研修」開催

6月29日～30日に秋田県大館市において、USヒューマンコース「花岡事件研修」を開催し、ガイド班を含めて22名が参加しました。

初日は現地踏査を行いました。当時の物が何も残っていない中でガイド班が説明を行い、戦時中に国家と企業によって、いかに労働者が利益を生み出すためのモノ扱いをされたのか、参加者自らがイメージを膨らませながら学びました。

うな中で、地元新聞社の調査によってデータに誤りがあることが明らかになっています。何が真実かを自分たちで見つけ出し、実践していかうことが求められています。

現在は、若手がガイド班を担い、研修をつくり出していますが、真実を風化させないために、自分たちに何ができるのかを議論を継続しながら今後も運動をつくり出していきます。

秋田県では「唯一の適地」としてイージスアショアの配備が進められています。地域住民から多くの反対の声がある中で、防衛省は配備する前提で地元説明会等を行ってきました。そのよ



花岡事件研修踏査

### JR東労組 サークル協議会 第30回定期総会を開催します！

日時 8月17日(土) 13時～  
場所 大宮総合車両センター 講習室



各部、各地本サークル協議会が集まり、1年間の活動報告をし、これからの活動方針について議論を行います。職種や年齢を超えた仲間づくり「明るく・楽しく・元氣よく」のサークル活動は重要です。サークル活動を通じて組織拡大・強化を行っていくために定期総会を成功させていきます。

### 2018年度 USヤングリーダーコース修了研修

6月26日～28日、2018年度USヤングリーダーコース修了研修を兵庫県尼崎市で開催しました。

現在、福知山線脱線事故現場は、「祈りの杜」としてJR西日本が整備しました。「様々な遺族の思いに応えるため」として、事故現場のマンションが見えないようになっています。果たして、事故を風化させないための施設なのかと、踏査を行った参加者全員が疑問を持ちました。

嘘をついて責任逃れしようとする西日本会社の姿勢を許せない」「会社は命よりも利益を優先する」「経験したことを職場の仲間へ訴えて、JR東労組が安全のストッパーにならないといけない」「職場で徹底的に議論する尼崎電車区分会の実践に感銘を受けた」「組織強化・拡大は地道な職場の運動の積み上げが大事だと感じた」などの意見が出されました。

US受講生一人ひとりが、この2年間で修了研修で学んだことを糧にして、JR東労組の組織強化・拡大を職場で実践していくことを確認しました。



JR西労の仲間との意見交換では、「安全確立と組織拡大」「職場でのたたかい」について議論を行いました。参加者からは、「死亡事故を起こしていながら

### 冤罪のない社会をめざそう！

今年、1949年7月15日に発生した三鷹事件から70年にあたります。死刑判決を受けた竹内景助氏の冤罪を晴らすために再審請求申し立てを行い、間もなく再審可否決定が出される予定です。

戦後史の謎・三鷹事件から70年

**展示会** 9月1日(日)13時～18時  
2日(月)10時～17時  
目黒さつきビルC・D会議室

三鷹事件の真相を照らす資料・証拠品を一挙展示

主催 (一財)日本鉄道福祉事業協会・労働資料館

社会的にも注目されている中「展示会―戦後史の謎・三鷹事件から70年」を開催しますので、是非足を運びください。